



# グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。お正月は年神様をお迎えする大切な行事。しめ飾りや鏡餅をお供えすると清々しい気持ちになります。そして、笑いのたえない良い一年になりますようにと願わずにはいられません。お正月は親戚との集まり、懐かしい旧友との新年会など、久しぶりに顔をあわせる方々と楽しく過ごす機会が増えますよね。「みんなでカラオケへ行って盛り上がった!」という方も多いのではないのでしょうか。そんな宴会シーンに欠かせないカラオケですが、1月19日は「カラオケの日」であり「のど自慢の日」でもあります。カラオケのビジネス化に初めて成功したと言われる井上大佑さんは、アメリカの雑誌『TIME』の「20世紀で最も影響力のあったアジアの20人」に選ばれ、「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して与えられるイグ・ノーベル賞平和賞を受賞した経歴もある方です。もともとは、ひいき筋の社長のために旅先でも歌えるようにと曲の演奏をテープに録音してあげたのが発明のきっかけだったそうですが、今やカラオケは世界各国に広まりました。コミュニケーションツールのひとつとしても、ストレス発散の手段としても、とにかく歌って楽しいのいいところですね。「NHKのど自慢」は皆さんご存知かと思いますが、ラジオ放送の「のど自慢素人音楽会」から始まり、1953年にテレビでの放送がスタートしたそうです。テレビ放送ではニュースと天気予報について、大相撲やプロ野球の中継よりも早かったそうですから、とても人気があったのでしょう。歌声だけでなく地域的话题を紹介したり、歌った方の様々なエピソードが語られたり、司会やゲストの方とのやりとりも楽しいひとときです。おじいちゃんを喜ばせたくて応募した女子高生、普段は口にできない妻へ感謝の気持ちを歌で伝えたいという男性、内気な自分を変えるために人前で歌うことを決心した大学生の男の子など、観ている側も思わず共感したり、応援したくなったりするシーンも多くあります。世界130カ国で放送されている「NHKのど自慢」ですが、そんな温かな気持ちに満たされるところも人気の秘密なのかもしれませんね。

ふれディア通信編集部



**脳トレーニングで  
脳年齢を若く  
脳を活性化!**

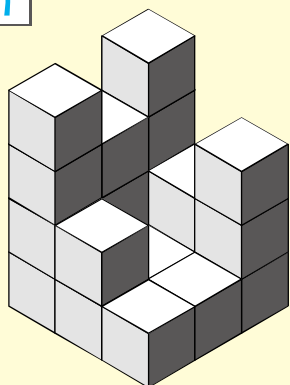
## ブロックの数は全部で何個あるでしょうか?

ブロックの数が全部で何個あるか数えてみましょう。

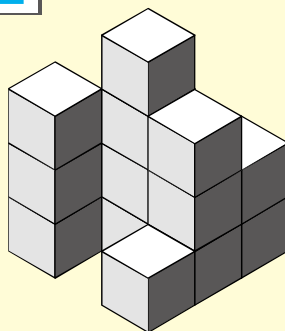
**問2** は、後ろから見た図も載せましたので参考にしながら考えてみましょう!



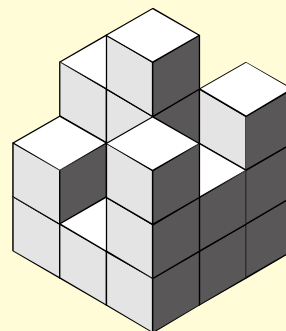
**問1**



**問2**



前から見た図



後ろから見た図

“解答”は他のページに載っています。答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります!